

第390回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日時 令和5年4月4日(火) 11:00～13:00
2. 場所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] 天玲美音・川崎玲奈の、今夜も気分は麗しく
[放送日時] 令和4年10月8日(土)・令和5年3月11日(土)
20:30～20:55
[出演者] 天玲美音・川崎玲奈
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 小野晃司
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-MIX の、新年度の体制と編成の説明。そして、現状に関する報告
6. 番組審議

[番組名] 天玲美音・川崎玲奈の、今夜も気分は麗しく
[放送日時] 令和4年10月8日(土)・令和5年3月11日(土)
[出演者] 天玲美音・川崎玲奈
[番組内容] 浜松市出身・元カレッジエヌの天玲美音と、K-MIX の川崎玲奈が、互いの共通点を探しながらゆっくりとトークしていく番組。土曜の夜、ひっそりとおすすめドリンクで乾杯しながら二人の「素」の表情が垣間見える25分間。

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

パーソナリティ2名の声が美しく、想像力をかきたてる。また、トークに品がある。「お酒」が番組冒頭に出てくるが、夜の番組というよりも、朝の雰囲気トークからは感じた。朝にサラリとした番組というのも良いのではないだろうか。

服部委員

オープニングから、女性パーソナリティ2名のトークが華やかに聴こえる。2人のトークは楽しく進行していると思う。天玲さんが、ラジオの中できちんと演じている感じが素晴らしい。2回分の番組の内、1本目(放送初回に近い方)は、トークがややぎこちないところもあったが、2本目は力の抜けたトークをしていた。天玲さんに対し、川崎さんはうまく受けてトークを展開しているが、

2人の立ち位置をどう取るかがなかなか難しいのではないかと。天玲さんは実力を持っていると思われるので、1人でのトークも聴いてみたい。2人のトークは、朝の雰囲気も感じさせてくれる。

角田副委員長

土曜の夜の時間帯に合致する「ほどほど感」が伝わり、とても良い雰囲気が漂っている。天玲さんの「元宝塚」、川崎さんの「聴く力」が番組を支える要素であると思われるが、特に、「川崎さんの聴き上手な立ち位置」は出色である。昨年度までのバカリ鬼塚さんとのコンビネーション（4年間）が活きていると思われる。

天玲さんが、気持ちがのってくると少し、早口になり、聴き取りにくくなる場所があるが、その部分を、川崎さんがフォローすると、2人の声質が同調して、どちらが話しているかが判別し難くなる時もあるので、そこを意識するとかなり進行もスムーズになり良いと思う。

木宮委員長

この番組を長く続かせて行くのか、今を旬として濃く華やかに放送するのは、天玲さんの存在に左右されると思う。「元タレントで静岡県（浜松）出身」という要素は、番組スタート時としてはこの上ない良い要素である。そこに、宝塚ファンの川崎さんが加わり番組のパワーが増している。次の段階で、天玲さんが「元タレントなのに…

（意外な一面がある）」という部分が出てくると、放送期間の長さを含めて、より存在感のある番組なるのではないだろうか。天玲さんが元来お持ちの個性の発現が期待される。

会社サイド

番組開始から半年で、番組の形はある程度でき上がってきていると感じています。これからは、「出身者とファン」という特徴だけではなく、本人たちが持っているがままに秘めている要素を発掘し、表現できるように、促して行きたいと存じます。

以上

次回開催日 令和5年5月9日(火) 11:00~13:00を予定

番組審議会委員長

木宮敬信